一般社団法人 神奈川県作業療法士会

神奈川県作業療法士会ニュース

2017年1月 No.183

Contents

作品コーナー…… 1
巻頭言…… 1
～第16回神奈川県作業療法学会への道のり vol.4～… 2
連載　生活行為向上マネジメント…… 3
TOPIC スポットライト～OTの生き方～起業編 …… 4
研修会案内…… 5
各部からの報告…… 6
理事会報告…… 7
求人案内…… 8
事務局からのお願い…… 8
編集後記…… 8

作品コーナー

作品名 1月のカレンダー

製作者 平井　弥典様（77歳・対麻痺）

作品について 作って飾ってあるのを「ここの部分はおばあちゃんがやったんだよ」って孫にみせたりしてね、入院してから寝てばかりいたけど、こういうのはいいですね。今まで、物を作るのはあまりやったこと無かったけど、すごく楽しかった！

●担当作業療法士：大口　香子 氏（横浜旭中央総合病院）

1月のカレンダー

巻頭言 ― 2017年を迎えて ―

皆様はじめまして。鳥です。鳥というより、酉と言った方がお分かりいただけるでしょうか。酉です。新しい年が始まりあっという間に1ヶ月が過ぎましたが、皆様新年に立てた目標など、挫折することなく続けておられますか？「継続は力なり」という言葉がありますが、地道に努力し続けることが最終的に力になります。さて、作業療法も気づけばアメリカで誕生してから今年で100周年。どの様な力を蓄えた100年だったのでしょう。

時は1917年、バートンさんやダントンさんなど「作業」の力に気づいた人達が集まり、アメリカ作業療法協会の前身となる作業療法促進協会が発足しました。日本で言えば大正6年、チャップリンが人気を博し活動写真が徐々に映画と呼ばれるようになっていった時代です。その頃の神奈川県は川崎の海岸を埋め立てていたり、相模鉄道が開通したりしており横浜の人口も40万人、まさか海の向こうで「作業療法」なんというものが発足しているだなんてこれっぽちも気づいていなかったことでしょう。

そして今年。あれから100年の2017年。映画には3Dや4Dが登場、横浜の人口は370万人、神奈川県にも多くの鉄道が行き来し毎日人々を運んでいます。100年の間に世界中で様々な出来事が起こり、あっという間に時代が移ろってゆきました。同じ時を刻んだ作業療法の世界でも確かに様々な出来事が起きました。その中で如何にして日本に作業療法が輸入され、日本ならではの方法で発展してきか…ここでは割愛させていただきますが、作業療法士達は今でも「作業」の力を確信しており、その核となる考えは変わっていません。向かい風に立ち向かったり、追い風に助けられたりしながら「作業」の力を強固なものにしてきた100年だったのかもしれません。

日本国民に「作業療法」が知れ渡るところにはまだ届かないものの、神奈川県士会員も約2000人となりました。次の100年で、こつこつと積み重ねて作業療法士の力となっていくものは何なのでしょうか。烏兎匆匆の世の中において、鵜の目鷹の目で作業療法の力を探し、鵜の真似をする烏などとなって後の雁が先になるなんてことの無い様に、飛ぶ鳥を落とす勢いで邁進したいですね。

※なお、酉ですのでお問い合わせその他はご遠慮願います。（ぴぐめい編集長より）

～第16回神奈川県作業療法学会への道のり vol.4～

特別企画・公開講座委員会からのお知らせ

津久井浜整形外科クリニック＆デイサービスセンター　安部　剛央

当委員会では、特別講演と県民公開講座を企画検討して参りました。

特別講演では、『情動を支援する身体からのアプローチ－OT に期待したい潜在認知への介入－』というテーマで藤田保健衛生大学　客員教授の富田昌夫先生にご講演頂きます。富田先生には、私がまだ若いセラピスト時代に、臨床動作分析研究会やボバース研究会で何度かご指導を頂いた事があります。アフォーダンス（認知理論）やクラインフォーゲルバッハ（運動学）を基盤とした観点から、OT が作業活動や ADL 訓練を行っていく際の背景となる分析や介入について、分かり易くお話し頂けると思いますので、是非多くの方々に傾聴して頂きたいと思います。

また県民公開講座では、お二人の先生方に『地域における生活支援』というテーマでご講演頂きます。

お一人目は、神奈川県立保健福祉大学 医師・教授であります関 勝先生に『リハビリテーション医学とエイジングライフ』という内容で、お二人目は、首都大学東京 作業療法学科 教授小林隆司先生に『障害を持った人が自分らしい生活を取り戻す過程と作業療法の役割』という内容でお話頂きます。

参加される県民の方々が知りたくなるような情報や知識を分かり易くお話し頂く予定です。

県民公開講座は、一般の方々に作業療法を知って頂く大きなチャンスとも成り得ます。

ですので、多くの地域の方々に参加して頂けるよう、皆様、PR を宜しくお願い致します！

この近年、『地域包括ケアシステム』『生活行為向上マネジメント』という言葉が広がりつつある中、リハビリテーション職は果たしてどのくらい周りの方から期待されている？作業療法士は何をしてくれると思われている？作業療法の実績はまだこれからですが、実践し結果がでなければ、結局は「選ばれない」仕事になってしまうと思うのです。自分たちのいるところで『作業療法』をしっかり実践していきましょう！

今学会は、『選択する未来』がメインテーマです。勿論、私達自身の『価値ある作業療法の選択』も大切ですが、色々な方々から『選択される作業療法（士）』になっていけるよう、今学会がその未来に輝くための一助になることを願います。

子どもたちに対する作業療法 ～神奈川県での新しい挑戦～

発達分野シンポジウム担当　よこはま港南地域療育センター　松本　政悦

発達分野の作業療法は今、大きな変化の中にあります。児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業などに参画する民間機関が急増し、作業療法士の働く施設が多様化しています。また、発達障がい児・者に対する社会的認知度が高まり、作業療法の対象となる機会が増えてきました。さらに作業療法に対しては、疾患の治療のみでなく、子どもたちが地域社会にうまく参加・適応していくための支援が求められています。このような情勢をみると、訓練室での治療中心の作業療法のみでは、子どもたちとその家族、彼らを取り巻く人々のニードに応えきれなくなっているように思われます。

このシンポジウムでは、神奈川県内でユニークな取り組みをしている３人の作業療法士をお招きし、それぞれが実践している作業療法を紹介していただきつつ、今後の展望について語っていただく予定です。

伊知地ゆめさんには「みんなが“やりたい”を育むすりーぴーす」と題して、児童発達支援・放課後等児童デイサービスすりーぴーすでの取り組みを紹介していただきます。すりーぴーすでは、子どもと家族が“やりたい”に向かって動いていけるように、日々の遊びや、乗馬、イルカとのふれあい、登山、農作業など、多彩な活動を通して支援しています。

本間嗣崇さんは神奈川県の教員として県立特別支援学校に所属し、自立活動の専門職として働いています。この作業療法士を常勤の教員として配置する制度は全国でも先駆的な取り組みです。本間さんには「特別支援学校で働く作業療法士の地域センター的機能」と題して、地域への支援などについて話していただきます。

岡田貴富さんは相模原市役所の職員として療育センターに所属し、療育現場に関わりながら、地域の保育園や学校などとの関係づくりに取り組んでいます。障がいのある子どもたちを取り巻く環境に作業療法士がどのように混ざり合い、役立とうとしているのか。「作業療法の協働のかたち」と題してその取り組みと、今後の構想についてお話いただきます。

このシンポジウムを通して、支援を必要としている子どもたちも地域社会の中で豊かに育っていけるように、私達作業療法士はどんな取り組みができるのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

連載

生活行為向上マネジメント

生活行為向上マネジメントの流れとツールの紹介 part7

生活行為向上マネジメント（Management Tool for Daily Life Performance：ＭＴＤＬＰ）は作業療法士の臨床思考過程を見える化したツールです。

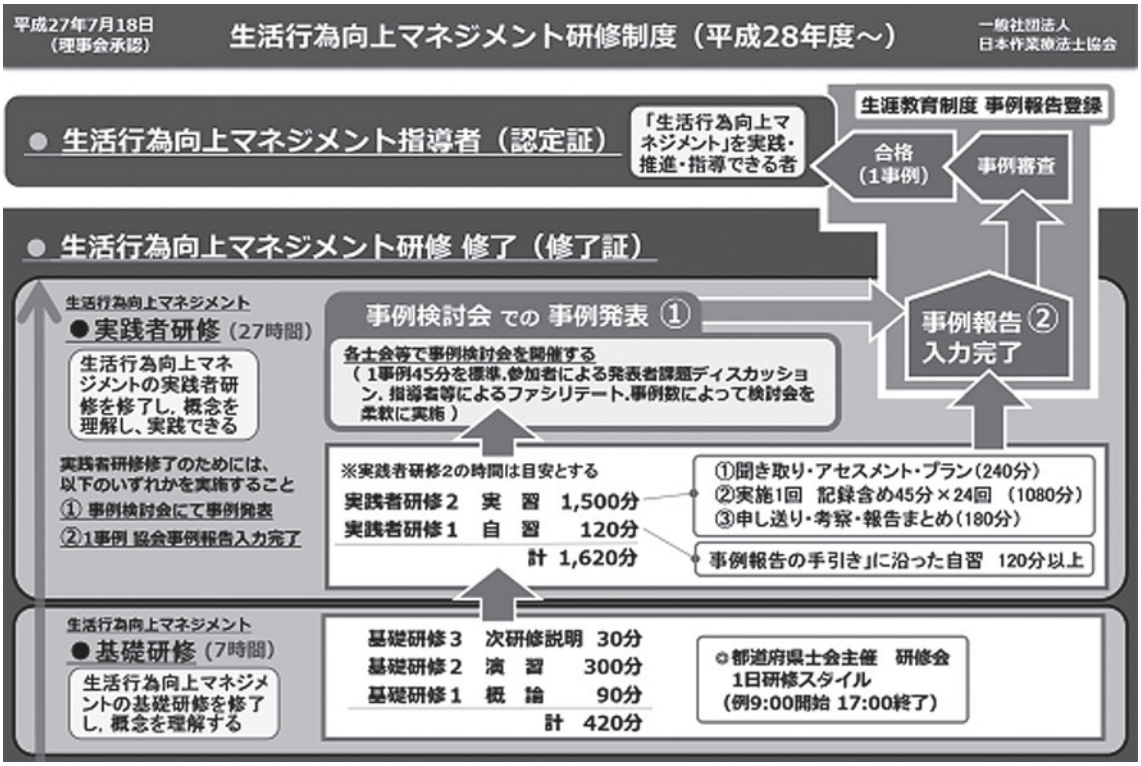
今回は、日本作業療法士協会の研修制度についてご説明いたします。

H28 年度以前は、MTDLP 概論 90 分＋演習 330 分を受講すると基礎研修が修了したこととなり、OT 協会より基礎研修修了証が発行されました。基礎研修修了者は事例登録に進むことができ、また通所リハビリテーションでの生活行為向上リハビリテーション加算の算定要件を取得することができました。これは H28 年度以前の対応です。

H28 年度からは図のように、MTDLP 概論 90 分＋演習 300 分＋次研修説明 30 分の基礎研修相当を受講した後、MTDLP を使用した事例の登録もしくは発表にて生活行為向上マネジメント研修が修了となります。

特に通所リハビリテーションで勤務している OT で生活行為向上リハビリテーション加算を取得予定の方はこの研修制度の変更にご留意ください。

（文責：生活行為向上マネジメント推進委員会　木村）



スポットライト ～OTの生き方～

起業 編

今回は、皆が生き生きと暮らせる環境作りを実現するために自ら起業し、地域に暮らす人々の多様なニーズに向き合い貢献しているOTさんにスポットを当てます。起業に至るまでの想いとその経緯や、現在展開している取り組みについて綴ってくださいました。

株式会社　リーフスタイル　山崎　純一 氏

未熟な私ですが、このような貴重な機会をいただきましたので、起業するまでの経緯と多様なサポートの実践をお伝えしたいと思います。

まずは起業への想いと経緯を綴りたいと思います。会社名のleaf-styleには、『葉には様々な色・形・手触りがあり、人にも個々のライフスタイル（日常・来し方、感性）や思いがある』、このふつうのことを大切にできる会社にしたいという想いを込めました。

〔大切な学びはいつも現場にありました〕

臨床5年目で起業したことをよく驚かれるので、少々破天荒なOTになるまでの経緯からお話しします。高校3年の夏、私は美大を受験するか迷っていましたが経済的理由もあり、運動能力を活かして消防士になることを選択しました。介護保険の無い時代でバブル経済崩壊もあり、増える虐待や自殺者を目の当たりにする中で、SOSを出している人々に一瞬しか関われないジレンマを感じていました。その頃から生活を支えることに興味を持ち、OTの存在を知りました。また、義父が難病を発症したこともあり、家族で最後に寄り添うために10年目を迎える春に消防署を退職し、地元を離れて群馬に転居しました。その後、養成校に運良く社会人枠で入学することができました。

いざOTとなり施設で働くと、人生どころか生活に寄り添うにも様々な制度的･社会的な制限がありました。なぜ高齢者や職員は施設側の都合で自分らしく暮らすことをあきらめさせられているのだろう？このままではよくない…『皆が生き活き暮らせる場を作りたい』と願い、（H23年）藤沢市に通所介護を開設しました。さらに多様なニーズに応えるべく、平成27年より訪問看護と保険外事業も運営しています。

ここからは､当社の取り組みを紹介したいと思います。

〔通所介護　生活ケア・リハビリ　ここち〕

お一人おひとりがその人らしく在宅生活を送れるように、OTは生きがいや環境を創造し、見守っています。過ごし方の特徴は、以下のようにご利用者・スタッフが一緒に楽しみ、目標に向けて協業しているところです。

①多様なアクティビティーに気兼ねなく取り組めます！（主役の皆さんが自己決定 - ちょこっと気づきをサポート）

②ふつうの生活を大切にできます！（不要な手引き・車椅子廃止、ゆったり個浴、一緒に作る・食べるなど）

③無理のない暮らし方が見つかります！（専門性を活かした自立支援、人・作業・環境の工夫）

④社会貢献も一緒に目指せます！（福祉バザー参加、生きがい・役割の実現に向けた協業）

⑤子どもや犬とのふれあいを楽しめます！（セラピー犬もいますが…そうでない子の愛嬌に癒される方が多数）

住み慣れた在宅での暮らしを支えるため、物件を探す条件を『バリアありの民家』『近所にほっこりできる場や買い物ができる場がある』ことにしました。穏やかな空気が流れていますが、実は『家に帰って楽に暮らす工夫』に気づけるようなサポートを職員で共有しています。

〔訪問看護リハビリステーション　ここち〕

機能回復に執着している方、生活意欲や生きる意欲が低下している方、リハビリの拒否が強い方、人と会えずに引きこもっている方、終末期の方、地域には様々な疾患・年代・状態の方がいらっしゃいます。その方たちに、そっと寄り添い、強みを活かして共にポジティブに歩んでいける人と環境作りに取り組んでいます。

◎セラピストがやりたいことではなく、ご本人の大切にしている『生活に寄り添える人材育成』を大切にしています！

◎フィジカルアセスメントや地域ケアなど幅広い研修に参加できます！（全額事業所負担）
◎精神科訪問看護が充実しており（精神科 Nrs3 名、OT1 名）、職員のメンタルヘルスも大切にしています！

〔保険外事業　生きがいサポート　いろは〕

現場で寄り添っていると、旅に行きたい、懐かしい人に会いたい、昔のように楽しみたい、人の役に立ちたいなど『声にしなかった思い』を語ってくれることがあります。その願いをどうしたら実現できるのか？ご家族・他事業所の人たちに相談し、関係機関や行政に確認しながら試行錯誤しています。一緒に目標を立て、ともに実現する過程は互いの充実感・自己効力感を高め、現場での地域包括ケアそのものです。

〔おわりに〕

3 月の福利部の職場見学・体験会に、興味はあるけど都合で参加できない方は、下記問い合わせ先にお気軽に電話もしくはメールにてご連絡ください！

また、皆さんの担当されている方の旅サポートなども募集しています（ボランティアでの同行可能です）！

地域での OT の可能性とやりがいが少しでもお伝えできていたら幸いです。

株式会社　リーフスタイル
〒 252-0815　神奈川県藤沢市石川 2-9-15
TEL：0466（90）3337　担当：原尾、山崎
HP：http://leaf-style.co/
e-mail：leaf-style@triton.ocn.ne.jp

あとがき

今回は、個々のライフスタイルや想いを尊重できる環境作りを実現するべく自ら起業し、多様な事業を展開されている OT さんにスポットを当てました。いかがだったでしょうか？

福利部では、今回特集させていただいた「株式会社リーフスタイル」の見学会を開催致します。
（日時：平成 29 年 3 月 11 日 (土) 13 時～ 16 時　申込先：fukuri@kana-ot.jp）

たくさんの方々のご参加をお待ちしています！

また、皆さまからのご感想やご意見も募集しております。県士会福利部 <fukuri@kana-ot.jp> まで是非お寄せください。今後も特色ある取り組みをしている OT さんを特集していきたいと思います。ご期待ください！

（文責：福利部　会員交流班　松岡太一）

研修会案内

タナベセラピー講習会『1 単位で効果がみえる中枢神経疾患の再構築アプローチ』
主　催：日本 CI セラピー研究会、タナベセラピー研究会
日　時：2017 年 2 月 18 日
場　所：ウィリング横浜　介護実習室 1 または 2
ＵＲＬ：facebook：タナベセラピー

2016 年度　神奈川県介護予防従事者研修会（横浜・川崎会場）
主　催：神奈川県理学療法士会
日　時：2017 年 1 月 28 日・29 日
場　所：新都市ホール　横浜新都市ビル 9 階
ＵＲＬ：http://pt-kanagawa.or.jp/general/event/6.html

高次脳機能障害者支援を包括的に理解する
主　催：国際治療教育研究所
日　時：2017 年 2 月 11 日・2 月 12 日
場　所：大阪アカデミア
ＵＲＬ：http://www.iiet.co.jp/

春のセミナー
主　催：発達協会
日　時：2017 年 2 月 11・12・18・19・26 日
場　所：東京ファッションタウンビル東館 9 階研修室
ＵＲＬ：http://www.hattatsu.or.jp

精神科臨床場面で生かせる評価法講座
主　催：神奈川県臨床精神科作業療法研究会
日　時：2017 年 2 月 18 日
場　所：ウィリング横浜
ＵＲＬ：記載なし

実践！認知症ケア研修会 2017（横浜会場）
主　催：日本通所ケア研究会 / 福山認知症ケア研究会
日　時：2017 年 2 月 19 日
場　所：ウィリング横浜
URL：http://www.tsuusho.com/ninchisyokea/

各部からの報告

教育部

県士会ウェブサイトから質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しずつお伝えしています。

さて、今年も始まりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

まだまだハレのお正月気分の延長かもしれませんが、少しずつケの平常に戻していきましょう。

今回は今年度のまだ間に合う生涯教育制度関連の研修会をご案内します。

1．今年度の生涯教育制度関連の研修会開催情報

＊申し込み等詳細は県士会ウェブサイト、これまでの県士会ニュースチラシをご参照ください。

また、締め切り後も受付可能なものもありますのでお問い合わせください。

①現職者選択研修

・老年期領域

2017年1月29日（日）　ウイリング横浜

②現職者共通研修

テーマ：「事例検討」・「事例報告」

2017年3月5日（日）　ウイリング横浜

＊事例報告検討会として実施します。

研修会、生涯教育制度に関してご不明の点はご連絡ください。

県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

（文責：教育部 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学））

046-828-2738（直）、kyoiku @ kana-ot.jp

福利部

研修会情報 ～職場見学・体験会 開催決定～

職場見学会・体験会を今年も3月11日（土）に開催します。前回、好評だった『起業』編の第2弾として、株式会社リーフスタイルの山崎純一先生にお願いさせて頂きました。先生は『皆が生き活き暮らせる場を作りたい』と願い、通所介護を開設し、さらに多様なニーズに応えるべく、訪問看護と保険外事業も運営されています。申し込み方法など詳細は県士会HPをご参照下さい。

県士会HP：

日時：2017年3月11日（土）
13：00～16：00

場所：株式会社リーフスタイル
（生活ケア・リハビリここち（小規模通所介護））
（訪問看護リハビリステーションここち）
（生きがいサポートいろは（保険外サービス））

（文責：福利部　会員交流班　池嶋）

理事会報告

平成28年(2016年)度　第４回理事会議事録

日時 平成28年11月10日（火）19：07～20：57　場所 神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、澤口、佐藤、神保、吉本、遠藤、野本、野々垣、内山、木村、村越　計 11 名
欠席理事：福留、奥原、作田、名古屋　**出席監事：**清宮、田中
そ の 他：甲本（ウェブサイト管理委員会）金山、白鳥、横山（事務局：書記）

●報告・検討事項

1．事務局

⑴報告事項

1)渉外

ⅰ神奈川県介護福祉士会「第 23 回日本介護福祉士会関東甲信越ブロック研修会」開会式典　錠内会長が出席。

ⅱ第 2 回介護人材確保対策推進会議　錠内会長が出席。

2)後援名義使用依頼

ⅰ神奈川県建築士会「技術支援委員会福祉部会平成 28 年度第 2 回研修会」

ⅱ県西地区リハビリテーション連絡協議会「リハビリフェスタ 2017」

ⅲ日本リハビリテーション工学協会車椅子 SIG「第 45 回車いす SIG 講習会 in 厚木」

ⅳ神奈川県介護支援専門員協会「第 15 回神奈川県介護支援専門員研究大会」

3)一般社団法人日本作業療法士協会設立 50 周年記念事業及び一般社団法人神奈川県作業療法士会 50 周年記念事業について
ポストカードの利用について周知と協力依頼をする。

2．財務部

⑴報告事項

1)平成 28 年度中間監査終了について　健全に遂行されていると監事より報告がある。

⑵審議事項

1)県学会・臨床大会助成金額について　事業計画と予算をもとに助成金額決定というシステム設定で提案。金額とともに学会評議委員会で検討してもらう。

3．学術部

⑴報告事項

1)研究助成事業の件　研究代表者　佐々木秀一氏（北里大学東病院）他 7 名を承認

2)学術誌残部の活用方法　定款変更に伴い以下の 2 点を行なっていく。

ⅰ県士会主催の研修会、臨床大会、新人歓迎会などで配布または販売

ⅱデーターベースへの登録 メディカルオンライン、医学中央雑誌への公開。

4．教育部

⑴審議事項

1)SIG 団体認可申請「臨床実践に役立つ理論研究会」⇒承認

5．広報部

⑴報告事項

1)対外広報班の活動

ⅰ介護フェア（平成 28 年 11 月 23 日）ブース出展

ⅱ介護支援専門員研究大会（2 月予定）へのブース出展

ⅲ横浜市泉区リハ連絡会「泉区政 30 周年記念イベント」での県士会パンフレット配布

6．福利部

⑴審議事項

1)一般社団法人　神奈川県作業療法士会　表彰制度（功労表彰）について　⇒承認

7．地域リハ部

⑴報告事項

1)研修会について

ⅰ難病リハビリテーション研修会（仮）平成 29 年 3 月 12 日（日）予定

2)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

ⅰ平成 28 年 2 月頃開催予定　医師会・地域リハ関連団体を交えて地域包括システムについてシンポジウムを行う予定

8．制度対策部

⑴報告事項

1)福祉用具対策班開催研修

ⅰ第 5 回　明日から使える環境スキル（重度障害者の環境調整）平成 28 年 12 月 3 日 (土)

9．学会評議委員会

⑴審議事項

1)学会､大会での学生対応や参加費について検討中。

10．認知症対策委員会

⑴報告事項

1)県内の認知症イベント「認知症をにんちしよう会」への参加

2)研修会「これからの認知症支援について～地域で作業療法士に求められること～」講師：宮澤由美氏　汐田総合病院医師　参加者：20 名

11．地域包括ケアシステム推進委員会

⑴報告事項

1)横浜市地域リハビリテーション活動支援事業の進捗
本年度は 33 回の依頼あり。報告会が 3 月 15 日に開催予定。また次年度は 54 回を想定中。

2)藤沢市事業の進捗
藤沢市の公民館イベントで今年度数回（2 月 3 月でそれぞれ 2 回）の通いの場企画運営を任せてもらえる予定。内容は横浜市の事業と同様を検討中。

（文責：金山）

求人案内

作業療法士募集

川崎協同病院（川崎医療生活協同組合）

当法人は地域に根差し、無差別・平等の医療・福祉を地域の皆様と進めています。
住み続けられる無差別・平等の「地域包括ケア」を目指しています。

募集施設：川崎協同病院（247 床）急性期病棟、障害者病棟・回復期病棟・地域包括ケア病棟大師診療所・おおしま訪問看護ステーション他
募集人員：新卒・既卒（若干名）（OT・PT）
待　　遇：当法人規定により優遇。経験年数加算。昇給年 1 回。賞与年 2 回。赴任費用支給制度あります。
勤務時間：8：45 ～ 17：15
休　　日：4 週 6 休、有給休暇、年末年始、特別休暇（年間 5 日）等
そ の 他：学会・研修会出張奨励。法人内・外リハスタッフの定期的勉強会有。法人スタッフは、PT・OT・ST、約 70 名。
応募方法：随時 電話・メール連絡の上、履歴書郵送

問い合わせ先　〒 210-0833　神奈川県川崎市桜本 2-1-5
TEL：044-299-4781　E メール：h.sato@kawaikyo.or.jp　URL：http://www.kawasaki-kyodo.jp
担当：川崎協同病院リハ科　技師長　成田洋子

事務局からのお願い

退会される方

年度内に退会予定の方は、**3 月 15 日**までに『退会届』を①郵送又は② FAX にてご提出願います**（上記日必着）**。

届出内容を変更される方

住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を①郵送又は② FAX にてご提出願います。（随時受付）

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**の INDEX より、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

編集後記

どうも、編集長のぴぐめいです。酉年だけに私はニュースの「トリ」に登場しちゃいました…あは（冷汗）。ところでなんで「ぴぐめい」なのかということなのですが、これは「ピグミーマーモセット」を英語で書こうとして書き間違えたことが発端です。え？「ピグミーマーモセット」って何？なんでそんなの書こうとしたかですか？それはまたこのコーナーでゆっくりお話ししたいと思います。今年もよろしくお願い致します。（ぴぐめい）

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース**　〈183 号〉2017 年 1 月発行（年 6 回発行）

発行責任者　錠内 広之
編集責任者　神保 武則
編 集 担 当　出口 弦舞（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科）
山岡 洸（新戸塚病院）／桜井 大和（佐藤病院）
佐藤 愛（新戸塚病院）／安田 優子（横浜旭中央総合病院）
丸岡 ちひろ（済生会横浜市東部病院）／井部 賢吾（北里大学東病院）
印刷　発送　株式会社髙陽印刷所
事　務　局　〒 231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号　TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金　10：00 ～ 15：00　メールアドレス：jimu@kana-ot.jp
一般社団法人　神奈川県作業療法士会ウェブサイト　http://kana-ot.jp ➡ 作業療法　神奈川　検索
Facebook　https://www.facebook.com/kaotwebkan
Twitter　https://twitter.com/kaotwebkan